

# 都市再生整備計画 フォローアップ報告書

## 和泉中央駅周辺地区

令和7年11月

大阪府和泉市

## 1. 数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップ <sup>※</sup> による確定値	計測時期	フォローアップ <sup>※</sup> 時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等	総合所見			
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年内の達成見込み								
指標 1	居住促進区域内に居住する人口	人	49,414	49,910	51,309	確定	●	○	あり	○	-	R 年 月	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	駅前広場の改修や情報板の設置等により、駅周辺の利便性や交通結節点としての機能が改善されたことが、人口増に寄与している。
						見込み			なし						
指標 2	道路・公共交通に対する市民の満足度	%	43	50	46	確定	●	△	あり	○	46	R7年1～2月	△	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	定量的な数値でみると目標未達成となっているが、駅前広場の改修やフォローアップの取組により、一定の効果が発現したと考えられる。
						見込み			なし	●					
指標 3	人身事故件数	件	36	30	30	確定	●	○	あり	○	-	R 年 月	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	交差点改良や駅前広場、歩道の整備により交通の安全性が高まったことが寄与している。
						見込み			なし						
指標 4						確定			あり	○		R 年 月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし						
指標 5						確定			あり	○		R 年 月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし						

事後評価シート 様式 2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップ <sup>※</sup> による確定値	計測時期	フォローアップ <sup>※</sup> 時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等	総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年内の達成見込み						
その他の数値指標 1	バスターミナルへの一般車交通量	台/2h	479	2	確定	●			-	R 年 月	△	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	駅前広場の配置見直しによりバスと一般車の通行を分離することができたため、利用しやすい安心・安全な駅前空間を確保することができた。
					見込み								
その他の数値指標 2					確定				-	R 年 月	△	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
					見込み								
その他の数値指標 3					確定				-	R 年 月	△	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
					見込み								

事後評価シート 様式 2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	整備した駅前広場や情報板の適切な維持管理	・日常管理、定期点検	・日常的な清掃や維持管理に努めており、目立った損傷などは見られず、整備後の機能を維持できている。	施設の整備から年数も浅く、損傷などの状況は見受けられないが、今後、経年による劣化が想定されるため、引き続き点検や維持補修を行う必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	道路・公共交通に対する市民の満足度の向上	・駅前の猛暑対策としてミスト発生器を設置した。 ・安全性向上のため、鉄道駅でのホームドアを設置した。	・ミスト発生器の設置に関しては、アンケート回答者の約7割から概ね良好な回答が得られた。 ・ホームドアの設置により公共交通機関の安全性が向上した。	・事業実施により、一定の効果が発現したと考えられるが目標未達成となっている。 ・府が実施する事業（一般府道三林岡山線 道路改良事業）との連携や策定を進めている自転車活用推進計画に基づく整備など、引き続き、誰もが快適で安心して住み続けられるまち《スマイル（住まつ・居る）都市》の実現に向けて、取り組みを進めていく必要がある。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的な内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項